

大和小学校・若宮小学校統合委員会 要点記録

第 11 回

開催日時	平成28年7月19日(火) 午後6時00分～8時10分	
開催場所	大和小学校 ランチルーム	
出席者	委員	伊藤英男、北村勝、関根仁美、稲尾公貴、和泉智乃、大谷正枝、風見尚征、福島晴美、林朱実、杉浦聡、澤村美和子、長岡知恵、長尾久仁子、石澤美佐紀、堀江政人、佐藤民男、堀聡明、松久保雅和、鈴木優介、板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当
会議次第	【議事】 1 統合新校の校舎(大和小学校)の改築について 2 統合新校の校章の検討について 3 校歌の制作者について 4 その他	

第11回 大和小学校・若宮小学校統合委員会 会議要旨

1 開会

委員長

これより第11回統合委員会を開催する。

本日、傍聴者はいない。

前回の統合委員会で新たな委員の推薦について了承したため、本日から新委員が出席している。これからは22名の委員で進めていくこととなる。よろしくお願いいたします。

(1) 統合委員会委員の委嘱について

(新委員1名)

若宮小学校PTA 大谷正枝委員

- ・新委員の紹介(自己紹介)

委員長

議事に入る前に、報告事項があるとのことなので先に行う。事務局の説明を求める。

(2) 中野区立学校設置条例の一部を改正する条例について

■中野区立学校設置条例の一部を改正する条例について、事務局から報告

(概要)

- ・大和小学校と若宮小学校を統合して美鳩小学校を設置することを盛り込んだ中野区立学校設置条例の一部を改正する条例が6月20日の区議会で可決された。
- ・このことにより平成29年4月に「美鳩小学校」を開校することが正式に決定した。

委員長

正式に美鳩小学校という名前で開校することが決まったとのことである。

(3) 大和小学校・若宮小学校の統合に伴う就学手続き等説明会について

■資料「学校再編に伴う就学手続き及び学校指定品の支給等について」事務局から報告
(概要)

- ・大和小学校と若宮小学校の1年生から5年生の保護者を対象に、就学手続きと学校指定品の支給等について説明会を開催した。
- ・両校の保護者を対象に、就学校及び学校指定品支給に関する調査を実施しており、この調査結果を踏まえ、12月ごろには、平成29年度に就学する学校をお知らせする予定である。
- ・学校指定品については、体操着の上下、水泳帽子を支給する予定だが、デザインの詳細については、現在、両校で検討している。
- ・支給対象は、両校に通う児童のうち、平成29年度も美鳩小学校に通う子どもが対象となるが、指定校変更により、北原小学校や啓明小学校などの美鳩小学校以外の中野区立小学校に通う子どもも支給対象となる。
- ・今後、1月にサイズ調査を行い、2月ごろに支給する予定である。

委員長

それでは次の報告に移る。

(4) 若宮小学校の改修工事について

■資料「平成28年度の学校再編に係る改修工事等について」教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）から報告

(概要)

- ・若宮小学校の改修工事は7月7日から始まっており、9月30日までかかる予定である。
- ・改修内容の主なものは普通教室への改修である。また壁・天井の塗装やトイレ改修、給食室改修、屋上防水改修、外壁改修を行う。
- ・なお給食室については、改修に時間がかかってしまうため、9月5日から10月7日までは給食を提供できない。

委員長

質問等あるか、なければ報告を終了する。

2 議 事

議事(1) 統合新校の校舎（大和小学校）の改築について

委員長

それでは議事に移る。「統合新校の校舎（大和小学校）の改築について」説明を求める。

■資料「統合新校改築基本構想・基本計画策定にあたり、統合委員会にて協議する事項等について（予定）」、「基本構想・基本計画策定スケジュール（案）」について、教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）から説明

(概要)

- ・統合新校の新校舎となる大和小学校については、体育館も含め校舎を新しく建替えることとなる。
- ・改築にあたっては基本構想・基本計画を策定する必要があり、今年度中に新校舎の基本構想・基本計画を策定し、その後、基本設計、実施設計を策定する。詳細な設計図面に基づいて工事を行い、平成32年度の夏ごろに校舎を完成させる予定である。
- ・基本構想・基本計画の策定にあたっては設計業者に委託するが、校舎建築の基本的な考え方

や全体施設計画については、統合委員会の意見も聞きながら進めていく。

- 子どもや保護者、教職員などの関係者に、どのような校舎や校庭が望ましいかアンケートを行い、その意見も反映できるようにする。
- 次回の統合委員会から、月1回のペースで3回ほど協議し、校舎改築に関する意見という形でとりまとめ、教育委員会に提出してもらいたい。それを基本構想・基本計画の案に反映させたい。

委員長

何か質問等あるか。

委員

配置案について、アンケートの内容で決めるということか。

区担当

アンケートで、配慮してほしい点や、こういったものを整備してほしいという要望が出れば、そういったものも反映しながら作っていく。ただ、配置案は区で検討していく。アンケートで全てを決めるということではない。

委員

アンケートは、誰を対象に実施するのか。

区担当

先行事例は中学校の改築であったため、1年生の生徒と保護者、学校関係者や地域住民を対象にしたが、今回は小学校なので対象をどうするか検討しているところである。アンケートに答えることを考えると高学年が対象かもしれないが、実際に使うのは低学年である。どのような形でアンケートをするか検討していく。

委員

子どもに通じるような内容にしなくてはならないと思う。

区担当

大人用と子ども用で分けるという方法もあると思うが、業者が決まったところで業者と相談しながら検討していきたい。

委員

例えば、階高はどのくらいまで許されるとか、そういった土地や校舎の条件などは明確になっているのか。

区担当

建築基準法も改正されているので、日照の影響など校舎を建てるための条件を調べて、大和小学校の位置にどの程度のものが建てられるか示していきたい。

委員

キッズ・プラザも学校の中に入ることなので、学童クラブの利用者にアンケートを取ってみてはどうか。

区担当

そういったことも今後検討していきたい。

委員

協議していく上で、校舎がイメージできるような具体的な図面は示してもらえるのか。

区担当

あくまでも検討段階のものであるため変わってしまう可能性も十分にある。そのため、委員会終了後に回収する形になると思うが、実際の校舎がイメージできるよう図面を示したい。

委員

できれば早い段階でパイロットプランというか、たたき台になるようなものがあるとイメージしやすいと思うので検討して欲しい。

委員

建替えるために一度更地にするということだが、樹木も全部切ってしまうのか。

区担当

更地にするとしても出来る限り樹木を残した形で、どのように建物が配置できるか検討していきたい。ただ、うまく建物を配置するために切らないといけないということもあると思う。

委員

建物の配置を最優先にして残せるものは残すということだと思うが、残る樹木がわかるよう配置図で示して欲しい。

区担当

配置図で示すようにしたい。

委員

敷地の南側の一番端のところのフェンス沿いに東京都の土地が残っていると聞く。今回改築にあたっては、そういった敷地の状況などを調査して対応していくのか。

区担当

現在の学校敷地等の状況を調査し対応していく。

委員長

学校の境界に関しては区で調べてもらい、今回の校舎建替えを機会に解決する方向で対応してもらいたい。

議事(2) 統合新校の校章の検討について

委員長

それでは、2番目の「統合新校の校章の検討について」事務局の説明を求める。

■資料「校章の検討について」事務局から説明

(概要)

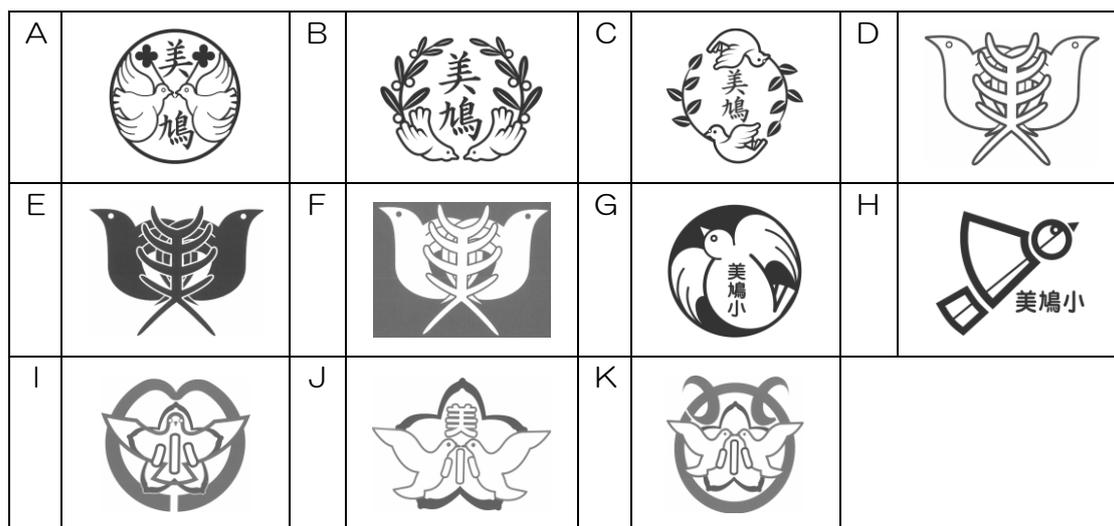
- 前回の協議では、95点の校章デザインの募集結果から、手描きの作品5点を専門家にデジタル化してもらい、その5点と完成品に近い6点をあわせた11点を比較しながら協議していくこととなった。
- 本日の協議では、この11点のデザインから、美鳩小学校の校章としてふさわしいと思うものとして、基本となる校章デザインを1点に絞り込んでもらいたい。その後、1点に絞り込んだデザインについて、修正やアレンジなどが必要であれば、どのようにアレンジするのか意見を取りまとめてもらいたい。

【デジタル化した応募作品】

応募作品	デジタル化	アレンジ例
		
		
		



【校章デザインの候補】



委員長

この11点のデザインから1点に絞り込んでいくが、まずデザインを見て意見はあるか。

委員

Gは、デジタル化したことによって少し空間が狭く感じられて、羽ばたく感じがなくなったように思う。また、Hは、くちばしと線がつながっているように見え、矢のシャフトみたいだったが、デジタル化されたものは少しずれている気がした。矢のような形に方向性といったものを感じたのだが、デジタル化した作品を見ると少しそれが強調されなくなってしまったと思う。

委員

前回は意見が出たと思うが、Bのオリーブは若宮小学校を直接連想させるので、Bについてはアレンジ例を選考対象にしたほうが良いのではないか。

委員長

今の意見についてはどう思うか。

— 異議なし —

委員長

ではBに関しては、アレンジ例を選考対象とする。

この11点の中から1点に絞り、その後アレンジについて検討する。校旗の制作にもかかわってくるので本日1点に絞っていきたい。

委員

思い悩んでも仕方がないので、投票で良いのではないか。

委員長

それでは投票でよろしいか。一度投票すればある程度絞れると思うので各委員1点選び投票してもらいたい。

— 校章デザインの投票・集計 —

事務局

集計結果を発表する。Aに1票。Aのアレンジ例に1票。Bに9票。Cのアレンジ例に4票。Gに1票。Hに3票。Jに1票である。

委員

過半数には達していないが、上位ということだと、BかCになるがどう思うか。

委員

私は、新しい学校なので今までにない校章にしたいと思っている。Hは、子ども達がこれから未来に向かって羽ばたくことや目標を持って過ごすことが弓矢の矢みたいなものでもよく表現されているので良いと思った。

最終的には皆さんが選んだもので良いと思うが、校章が持つ意味や校章に込めた願いなどはしっかり考えたい。また、美鳩という字が大きいので、字体を変えるなどの検討は必要だと思った。

委員

統合の時の思いは2校を一つにということであるが、そのことは10年、20年たったとき美鳩小学校に在籍している子ども達にはあまり関係ないのではないか。そういったことから鳩は2羽である必要はないと思った。私は、未来をイメージして新しいデザインのGやHが良いと思った。

委員

私も、2校が一緒になったことは、これからの子ども達にとってはあまり関係ないと思う。鳩が向かい合うデザインも良いのだが、子ども達の未来や方向性などを表現しているHに入れた。

委員

鳩のデザインについてだが、2羽の鳩を統合する両校に結びつけてデザインしているということではなく、デザイン上、2羽表現しているというように捉えても良いのではないか。2羽の方がデザインとして良いということであれば、それはそれで良いと思う。

Cのアレンジ例は鳩が本当に羽ばたいていっているのが良いと思った。この地域からも飛び立っていく、それから未来を担っていける人物になってほしいというような思いが、よく表現できたアレンジになっている。

委員

私は2羽のAとBどちらも良いと思っているが、2羽の鳩は両校というよりも、子どもと子どもなど「お互い」と考えても良いのではないか。私はこのデザインを見て「平和」を感じたので選んだ。

委員

私はBを選んだが、鳩が2羽だからということよりは、ただ単に、二つの枝の部分が美しいと思った。健やかに仲よく育ててほしいという思いもあるのだが、生活する中で所作であったり心であったり、美しさというのも大事なのかなと思った。そのためデザインの美しさも検討する部分になるのではないか。ただ、BとCで迷った。BにCの躍動感が加わったら良いと思って選んだ。

委員長

遅れて来た委員は、何か意見はあるか。

委員

どんな子ども達になってほしいかということまで校章に込めるのか、それとも鳩が仲よく手を取り合っていくというようなデザインを選ぶのかで選択肢が分かれると思う。校章に何を込めるのかという議論がされて、その上でどういった路線で決めるのかというように進めたら良いのではないか。

私は、仲よく育てていくということは、平和の象徴である鳩をデザインした時点で十分表現されていると思う。それに加えて、これからの子ども達には美鳩小学校を巣立ち羽ばたいて、自分なりの人生を歩んでほしいと思うので、そういったことがイメージできるHが良いと思った。

委員

これでHとCのアレンジ例で票数が並んだ。

委員

今回のデザインで決定ではなくて、どれに決まったとしても、もう少し線を細くするとか、そういうようなアレンジや修正はしてもらえるのか。

事務局

まず基本となるデザインを絞ってから、線をもう少し細くとか、字体を変えるとかアレンジについて意見を出してもらい、次回アレンジしたデザインを見てもらいたいと考えている。

委員

そのために基本のデザインを1つに絞り込む必要があると思う。

委員

B、C、Hに意見が集約されてきているが、どのように1つに絞り込むか。

事務局

南中野地域の2つの統合委員会でも校章の検討をしているが、今回1つに絞り込めなかったので6パターンを上限にアレンジしてもらい、それを見て次回決めることになった。そのため、例えばBとCとHについてそれぞれ2点ずつアレンジしてもらうことも可能である。

委員

本日1つに絞り込めば、それに対して6点、2つに絞り込めば3点ずつというようにアレンジを依頼できる数が変わってくるということか。

事務局

そうである。ただ、今回は最終的なデザインとして確定しなければならないし、次回以降アレンジすることはできない。アレンジについても出来るだけ具体的にまとめてもらいたい。

委員

私は、校章という表現だと何となくイメージが固まってしまうのかなと思っている。だが、シンボルマークという考え方をすると、勢いのあるデザインであっても良いのではないかと思いGに入れた。Bは、少しオーソドックスという気がしているが、それが悪いというわけではない。Cは比較的Bに似ているのでBとHを候補に残し、それぞれアレンジしてもらってはどうか。

委員

確かにBとCは鳩のデザインが違うだけなので、BとCを合わせることもできると思う。そうするとBとCを合わせて13票になる。

委員

Bは鳩に躍動感がないので、Cの鳩のようにもう少し飛び立つようなイメージでアレンジしてもらえるのであれば、意見が集約されると思う。

委員長

B、C、Hに集約されてきているが、BとCを合わせるという考え方もある。BとCを合わせたものとHを候補とするとそれぞれ3パターンアレンジが見られる。

委員

Hについては、3パターンもアレンジは不要ではないか。

委員

確かにHは3パターンもアレンジは要らない気がする。アレンジするとしても、「美鳩小」の「小」を取るとか、「美鳩小」の字そのものを入れないとか、それぐらいだと思う。

委員

Hについてはアレンジではなく、矢印の向きがずれているのを修正してもらえば良いのではないか。

委員

Hは実際に校舎に取り付けられることを想定した時、突き刺さるというようなイメージになってしまうのではないか。また、飛び立つという意見があるけれど、1年生はすぐ飛び立つわけ

はない。私はBかCのほうが良いと思っており、この円形の部分は地球を表しているとも取れ、地球を飛び立っていくというような雰囲気がある。向きの違いはあるが、飛んでいるというイメージをBもCも持っているので良いと思った。

委員

Hは色によっては、とても映える可能性もあると思う。カラーのアレンジはできるのか。

事務局

印刷物が白黒ということもあるのでカラーのアレンジは考えていない。

委員

Hを校章にした時、丸の中にこのデザインがおさまるのか。それとも四角く囲むのか。

委員

丸や四角で囲むのではなく、この形がそのまま校章になる。

委員

Hはアレンジというよりも修正してもらえば良いという意見もあったので、例えばBとC、もしくはBとCを合わせたものでアレンジを6パターンつくってもらい、その6つとHをこのまま候補にして、次回検討するのもありなのではないか。

委員

提案なのだが、Hは私がアレンジを作るので、次回にそれを見て決めるというのはどうか。

委員長

今の提案についてどう思うか。

委員

Hに関しては、すごく微妙に細かいところを直してもらいたいので、作ってもらえるなら見てみたい。

委員

委員がアレンジを作成するというに何か問題はないか。

事務局

統合委員会の了解を得て作ってもらうということであれば、良いと思う。

委員

先ほどの投票結果ではBとCを合わせて13名になる。その事実からすると、Hは候補から外した方が良いのではないか。

委員

しかし、今までの意見を聞いてHに傾いている人もいるかもしれない。そのため、この三つを候補とし、アレンジしてはどうだろうか。

委員

それならば、もう一回投票してみた方が良いと思う。

委員長

今、再投票という意見が出たが、全てを対象として投票するのか、それともBとCは一つとしてみなし投票するのか。その辺の意見はあるか。

委員

全てを対象として投票すると、また同じ議論をしなければならなくなるのではないか。

委員

そんなことはないと思う。例えばBであれば、鳩を上向きにしようというのはアレンジで可能である。アレンジでもっと活発に羽ばたくような感じに直してもらえば良い。

委員

デザインというよりも考え方について協議したほうが、議論が堂々巡りにならなくて済むのではないか。先ほど校章に何を求めるか考えてはどうかという意見もあったと思う。

委員

これから、どういう子ども達に育ててほしいかということまで校章に込めるのであれば、羽ば

たいていとか、力強く躍動しているイメージを校章に入れた方が良いと思う。

委員

決まったデザインにそのような要望を付けてデザインを直してもらえば良いのではないか。

委員長

11点のうち、BとCとHについて、さまざまな意見が出た。BとCは近いデザインだから1つとしてアレンジした方が良いという意見がある一方で、全てのデザインを対象にもう一度投票してはどうかという意見もある。

委員

BとCを1つと考えると、それで過半数になるのではないか。

委員

しかし、今までの意見を踏まえて投票ということになると、過半数にならないかもしれない。

委員

Hは、デジタル化したものが少しいメージしていたものと違うと思っけていても4票入っている。原画に近いデザインが出てくればHのほうが良いということになる可能性はあるので、B、C、Hについてアレンジを作ってもらえば良いのではないか。そうしないと意見がまとまらないと思う。

委員

今までこれだけ時間を費やして協議しているわけだから、全てを対象に今までの経緯を含めて良いと思うものを投票すれば集約されると思う。それで、その一つに決めたデザインで6パターンアレンジしてもらえば良いのではないか。

委員

南中野地域の統合委員会は、今回は1つに決めず、あと1回協議することになったのであれば、BとCとHを候補として残し、次回に決めることにしてはどうか。

委員

校名を協議したときも相当、話し合った。校章も大事なものであるし、それぞれ思っているイメージが違うので、時間に猶予があるならぎりぎりまで協議する機会が欲しい。

委員

あと1回と言っても、次回以降は大きな修正はできないし、今回は必ず決定しなければならないということ念頭に置いておく必要はあると思う。

委員長

それでは、BとCで6パターンアレンジをつくってもらい、Hはそのまま候補として残すということが良いか。

委員

Hはデジタル化したものを原画に近いものに修正してもらえば良いのだが、委員が修正したデザインも見たい。

委員長

それでは、BとCについてアレンジを6パターンつくってもらい、Hについては委員が作ったアレンジを見て、その中から決めることでよろしいか。

— 異議なし —

委員長

続いてアレンジについて、何か意見はあるか。

委員

応募作品を見ると、Cは枝をくわえた鳩をデザインしているが、ここからあまり離れるとCではなくなってしまうという懸念がある。Bについてだが、鳩に躍動感を加えたいということであれば、鳩を上向きにしてみてもどうだろうか。

委員

Cの元のデザインは鳩を上下に配置しているが、アレンジ例は配置が少し変わっている。それ

も躍動感を持っているような印象を与えているのではないか。

委員

確かにBの鳩の場所を入れかえて、両方上向きにすれば躍動感が出るのかもしれない。

委員

6パターンアレンジをつくってもらったが、元のデザインを選択することはできるのか。

事務局

アレンジした結果、最初のデザインを選定することも可能である。

委員

Cのアレンジ例だが、「美鳩」の字は画数が多いので、鳩の羽と重なると、すぐく見えづらい印象になる。その辺の空間とかを意識して調整してもらえると良いのではないか。

委員

最終的に一つに決めるに当たって違うデザインの字体を選ぶということは可能か。

事務局

可能である。

委員

植物の葉は、互い違いのものと、対に出るものがあると思う。月桂樹はどちらであったか。

委員

月桂樹の葉は、互い違いなのだが、デザインにすると対に葉を配置しているものが多いと思う。

委員

植物は指定せずに、若芽や若木をイメージして作ってもらえれば良いと思う。

事務局

意見を整理すると、Bのアレンジについては、現在の向きのまま躍動感のある鳩に変更したものと、躍動感のある鳩を上向きに配置したものを作成してもらおう。Cのアレンジについては、字体を少し小さくするなどバランスを調整したものと、若木をイメージした植物に変更したものを作成するという事で良いか。

委員長

アレンジに関する意見は、そういった内容でよろしいか。詳細は事務局と専門家とで調整しながら作ってもらおうことで良いか。

— 異議なし —

委員長

それでは、校章のアレンジは事務局で専門家と進めてもらい、次回提示してもらいたい。次回は必ず一つに決めなければならないので、よろしく願います。

議事(3)校歌の制作者について

委員長

それでは、3番目「校歌の制作者について」事務局の説明を求める。

■資料「校歌制作者について」について、事務局から説明

(概要)

- ・前回の統合委員会で、校歌の制作者については、委員長、副委員長、両校の校長と事務局に検討を一任することとなった。
- ・検討結果を踏まえ制作者について事務局で交渉を進めてきたが、作詞・作曲ともに、青島広志氏に決まったので報告する。

委員長

今の説明について何か質問あるか。

委員

校歌の制作者が決まった経緯を教えて欲しい。

事務局

当初、何名か候補がいたが、その中で依頼する順番を委員長、副委員長と両校の校長と検討した。校歌を作っている実績などから順番を検討し、それに基づき交渉したところ、承諾してくれたので依頼することとなった。

委員

出来上がった校歌について統合委員会で協議するのか。それとも制作者に一任するのか。

事務局

場合によっては事前に点検を依頼されることがあるかもしれないが、校歌であっても制作者の作品であるため、内容について協議することではないと思う。また、統合委員会には出来上がった校歌を報告する予定である。

議事(4)その他

委員長

それでは、美鳩小学校の通学路の検討状況について、学校から報告をお願いします。

■資料「美鳩小学校 通学路（案）」について、学校から説明

(概要)

- ・現在の通学路を踏まえ、美鳩小学校の通学路について両校で検討し、現時点における案を作成した。
- ・あくまで、通学路の主な部分であり、細かな部分については今後もさらに検討していく。

委員長

何か質問や意見等はあるか。

委員

若宮一丁目と三丁目の間にある大和中央通りを通学路に指定しているが、この通りは車の交通量が多いのではないか。

委員

逆に脇道を通学路に指定してしまうと、目が行き届かないということにもなると思う。交通量が多い所などについては、通学指導員を配置して対策していくが、通学路についてはさまざまな意見があると思うので、今後も検討していきたい。

委員

通学路に監視カメラが設置されたと思うが、新しい通学路と整合性は図れているのか。

委員

監視カメラの設置個所を配慮しながら検討していきたいが、あくまでも通学路なので、監視カメラが前提ということでもないと思っている。

委員長

通学路については、本日出された意見も踏まえ、両校で引き続き検討してもらいたい。

委員長

その他に何か意見等あるか。

事務局

大和小学校の改築に関連して、改築した学校の視察を予定している。視察は、他の統合委員会の委員と合同で実施することになるが、日程や場所が決まり次第、改めて連絡する。

委員長

それでは、次回の開催日程について調整する。

— 日程調整 —

委員長

次回は9月21日水曜日の午後6時から開催することとする。次回は若宮小学校で開催する。
それでは、本日の統合委員会はこれで終了する。